

## 3月定例会概要

平成21年3月定例会は、2月27日から3月19日までの会期で行われました。

今定例会では、平成21年度一般会計予算(総額132億円)、特別会計・事業会計予算(総額82億445万円)、平成20年度一般会計補正予算(総額4億3876万円の増額)、特別会計・事業会計補正予算額(425万円の減額)の各種予算案25件、条例の改正案など23件の計48議案が市長から提出されました。

9日から11日にかけては、一般質問に12名の議員が登壇し、12日、

13日、16日の3日間は、総務・産業建設・社会文教委員会、それぞれ審議しました。

最終日19日、提出された議案はすべて原案のとおり可決されました。また、請願1件を一部採択、陳情3件を採択、5件を不採択としました。



長野県特別豪雪地帯指定市町村議会協議会による県知事要望

## 一般質問

3月定例会にて12名の議員が一般質問を行いました。



小林初子議員

### ◇地域全体で認知症を正しく理解して適切な支援を

【質問】高齢化が進み認知症の人が急増しているが、私達の周りには認知症に対する社会の偏見や差別が根強く残っている。認知症に対する正しい理解がないと、本人は不適切な支援によって自尊心が傷つけられ、やる気や生きる力まで奪われて、状態をさらに悪化させてしまう。そんな中で「認

知症があっても本人が地域の中で暮らし続けていくことを支援する」取り組みが広がってきている。昨年提案させていただいた「認知症サポーター養成講座」の開催は「認知症を知り、地域をつくる」全国キャンペーンの一環として展開しているものであるが、今後講師役のキャラバン・メイトさんの交流や学習の場を設けたり、活動しやすい態勢づくりも必要ではないかと考えるが。

の授業でDVDや人形劇を通して認知症を理解する取り組みが始まっている。学校関係者の皆さんには是非推進をお願いしたいが教育関係者のお考えは。【教育委員長】校長会等の場で事例紹介するなどとして広めていく必要があると考える。

【質問】市内の開業医の先生方が、地域のかかりつけ医として日頃の診察などでもの忘れ等について、相談にに応じてもらえる態勢をつくって頂けるよう医師会等に要望してはどうか。

【部長】医師会の先生方に相談していただきたい。



【部長】21年度も「おさらい会」に力を入れ、見守りなどの研修会やより多くの地区の集まりなどで開催できるように支援していきたい。

【質問】社会全体で認知症を正しく理解し本人にとって住みやすい町をつくるために、家庭・地域・職域・学校等まち全体の支え合いネットワークをつくる必要があると考える。ちなみに岡山小学校では道徳



山崎一郎議員

### ◇通勤対策について

【質問】市の将来にとって人口増を図るには就業対策が重要だ。中でも通勤対策が重要である。新年度事業にある通勤対策の中心は何か。

【市長】飯山線の増発と輸送力の増強を図りながら、環境に優しいハイブリッド車両の導入に向けての運動を進める。また、利便性向上のため新幹線駅への移設統合や、駐車場の無料化を図る計画である。

### ◇スポーツ振興対策について

【質問】スポーツの振興を図ることは、地域の活性化と、市民に夢と希望や元気を与えてくれる重要なことだ。一係だけでなく庁内各部門で検討すべきと思うが取り組みは。

【市長】議員の思いと同じで、スポーツは地域に大きな経済効果をもたらす大切な

### ◇都市計画区域の見直しについて

【質問】議会質問の度ごとに、調査・研究・検討している等、先送りの答弁である都市計画区域の見直しの現状は。

【部長】国土利用計画審議会より、3月5日「市の南部地域を計画区域へ拡大すべき」との答申があった。答申を尊重して見直し案を作成、地元説明と関係機関との調整を図り拡大を進める。

### ◇都市計画道路の整備について

【質問】計画決定から半世紀以上経過する八幡線(城山下292号線)沿線には、保育園・小学校・中学校・高校があり、北飯山駅や大きな事業所などがある重要な地域であるが道路整備が一向に進まない。見直しはどうか。



八幡線(有尾)



上松永林議員

### ◇新幹線駅に関するアクションプランについて

【質問】新幹線駅の周辺を「豊かな自然」を感じさせる空間とすることは、市長の「飯山市の経済の中心は観光と農業」との趣旨に合うと思うがどうか。

【市長】そのとおりだ。飯

れるようにしたい。駅舎の設計もそうお願いしているし、市民や関係者に広く意見を聴き、目一杯取り組む。【質問】駅前市有地3千㎡と街区公園を一体として森林を造成し、森の小道を散策しながら土産物などを買えるようにしたら。

【副市長】駅前商業利用についても豊かな自然が感じられるように整備したい。具体的手法は十分に検討しながら進める。

【質問】駅西田中地籍1万2千㎡に企業を誘致するとしているが、現状を考えると難しいのではないかと。環境教育や情操教育の場として活用したら。

【副市長】大変な時代ではあるが、駅前の重要な土地を活用し、地域に若い人たちが定着して人口の再生産ができるよう、全力を挙げ取り組む。

【質問】田中地籍を、牧場にし、子どもの教育、大人の生涯学習、観光の出発点などに使ってはどうか。将来の中学校再編にも対応できる。

【市長】たとえ小さくとも、どこかの場所で実現できれ

ばいいなと思う。

【質問】回遊性のある「まちなか観光」を目指しているが、住民の協力を得て市街地の景観形成施策を進める必要がある。

【市長】将来展望を踏まえて考えるときだ。商業者の店づくりなどは全力で支援している。

【副市長】景観形成は大きな課題。まちづくり組織など住民との連携を図り、必要なら住民協定や建築協定も結んで進める。

### ◇地域限定プレミアム商品券の発売について

【質問】定額給付金に関連した商品券の早期販売に市の協力を。

【市長】商工会議所から申し出があったので、6月議会に諮る予定。7月〜12月の利用を考えている。



新幹線駅周辺整備が進む